

年金は
老後だけじゃ
ないんです！

<http://www.nenkin.go.jp>

国民年金は20歳以上の人はみんな加入する制度です。

そして、保険料をきちんと払うことは、将来の自分自身の老後をより豊かにすることにもなることをご存知でしたか。

また、国民年金は老後の保障だけとしか思っていないませんか？ スキー、野球、サッカーなどのスポーツの怪我や交通事故などで障害が残った場合にも、障害年金がもらえることを知っていましたか？

そのためには、保険料をきちんと納めていることが条件になります。

ただし、学生やまだ就職が決まっていなくて、とても保険料を払うことができないようなとき

には、

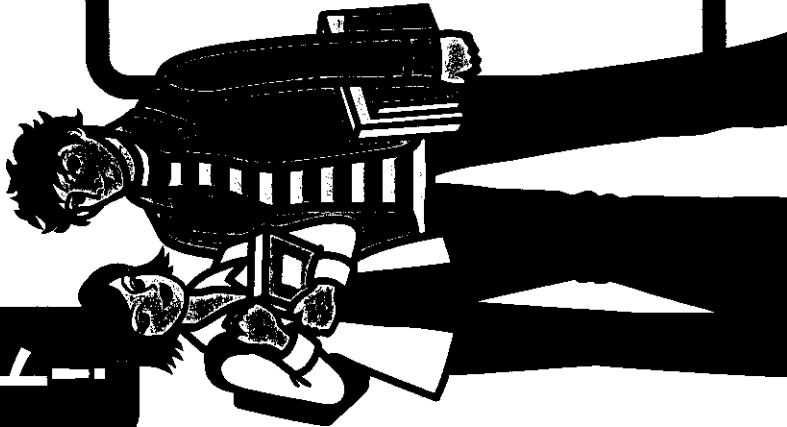
○学生の場合は、保険料を後払いできる「学生納付特例制度」があります。

○アルバイトなどで所得が低い人は、保険料を払わなくてもすむ「保険料免除制度」があります。

社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている国民年金は、日本の経済社会が存続する限り、決してつぶれることはありません。また、年金額の3分の1は国が補助しており、保険料はその全額が税金の控除対象になります。

公的年金には、その他有利な点が沢山あるんですよ。ご存知でしたか。

国民年金は1人がポイント!



国民年金は、将来に向けて たいへん安定し、 かつ、有利な制度である。

- 国民年金に加入し保険料を納付することは、**法律上の義務**です。また、少なくとも25年間以上公的年金に加入して、保険料を納めていれば、老齢年金が一生、死ぬまでもらえることになります。
- 社会全体で世代間扶養を行う仕組みをとっている国民年金は、日本の経済社会が存続する限り、決して**つぶれることはありません**。
 - 国民年金は本来所得の観点からみるべきものではありませんが、取扱い計算しても、平均的に長生きすれば、支払った保険料の総額より生涯受け取る年金額の合計の方が大きく、決して**払い損にはなりません**。

国民年金には、保険料が 免除(納付猶予)になる 制度があります。

- 月々の13,300円はポイントつきというアナタに!
- 学生の場合は年間収入が約133万円以下の場合に、市町村に申請すれば、保険料を後払いできる制度があります。ただし、申請は前年の所得を確認する必要があるので毎年年度必要となります。(学生納付特例期間)
 - アルバイトなどをしていて収入が少ない場合には、市町村に申請をすれば、保険料の納付が免除される制度があります。(保険料免除期間)
- もちろん、その間期間とも障害年金の保障はバツリされます。ただし、満額の老齢年金を受けるためには、免除された期間にかかる保険料を追納(保険料を遡って納めること)することができず、お金に余裕ができた時点で保険料を納めましょう。

このメリットを受けるためには、**保険料を納めることが前提となります。**
国民年金への加入と保険料納付は法律で義務づけられています。

国民年金には、障害年金もある。

国民年金には、老後の生活を保障する老齢年金だけでなく、野球、サッカーなどのスポーツの怪我や交通事故などで障害が残った場合には障害年金が支給されます。これらの年金の支給を受けるためには、必ず国民年金に加入してきちんと保険料を納めていることが必要です。ただし、学生納付特例期間又は保険料免除期間での怪我なども保障の対象となります。

国民年金は、物価の上昇を反映する、 物価スライドがある。

国民年金は、物価の上昇に合わせて、年金額も引き上げられます。これは、法律にも明記されていて、国民年金だからできることなのです。

国民年金は、国が運営する制度。 年金額の3分の1を国が補助!

国民年金制度は、長期的な視点に立ち、将来を見据えて、国が責任を持って運営しています。そして、国民年金については年金額の3分の1を国が負担しています。つまり、年金額の3分の1が、お得な制度となっているのです。

国民年金の保険料は、全額、 社会保険料免除の対象!

国民年金の保険料は、確定申告の際、全額社会保険料控除として認められます。つまり、13,300円×12ヶ月＝159,600円が対象となるのです。

同年代の方でやはり年金を貰ってない方がおるわけですよ。そういう方々のことを思いますとね、やはりその後になって、**収入はそうはありません**のですね。そしてやはり若いとき、年金を積み立てて、いま貰えるようになったことは**有難いな**と実感しています。

(新潟県／相田恒雄さん)

私たちが年金を貰えるのも**若い世代**が掛けてくれるお陰と思うから、20歳と21歳の孫には「掛け金、しっかり掛けといてなー。」と言うんですね。年金は、自分がやったことに対してのお返しだから、孫にも十分に務めを果たしてほしいなと思います。

(香川県／宮崎富子さん)

先輩たちは語る

少子高齢社会だから、若い人たちは、保険料を掛けるときは苦しいかもしれないけど、**「掛けてあるんだ。」**というひとつの**安心感**って、あるんじゃないですかね。それに、実際に、**年金を貰ったときの楽しみ**というのは、格別ですからねえ。

(愛知県／紅谷安彦さん)

国の年金というのは、いくら利回りが悪くたってですね、**年金額を減らす**なんていうことはありませんし、**終身保障**して頂けるし、インフレになった場合には、**物価スライド**をして頂けると、非常に有難い制度だなーと、**いっしょに**思っていますからね。

(東京都／井内美喜夫さん)

事故に逢い、大きな障害が残ったあとは、将来への不安がつるばかりで、眠れない日が続いたけれど、**障害基礎年金**を受けられるようになったのは、何かひとつでも**頼れるもの**があると、もう一度人生頑張れるかなという気になるものですよ。

(兵庫県／Aさん)

年金は**生活必需品**じゃないですか。なかつたら生活できないから、みんな無理しても若いとき掛けてたんですよ。これからは、自分で自分のことをやっていかなくちやならないんですから、**納めることは納めて**いかなかつたら、大変だと思いますよ。

(宮城県／渡邊あいさん)